遊YOU米 たわら新聞 第41号

遊佐町共同開発米部会広報部編集　平成23年12月

食べ手は農家に何を求めているのですか？

激動の一年と言えばいいのか…震災、原発、風評被害、ＴＰＰと一体この国はどこに向かっているのか不安がよぎります。我々農家が進むべき道、作り手と食べ手の本来あるべき姿に向かって進んで行かなければなりません。我が部会が日本農業の先駆的存在であるために何が必要なのか今一度考える必要があります。食べ手の皆さんからのご意見を共同開発米部会はお待ちしております。

お互いに栽培基準を確認

イモチ病常発田の苗箱処理剤
　変更前　Dr オリゼアドマイヤー粒剤
　変更後　ブイゲットフェルテラ粒剤

１１月２４日、生活クラブ連合会で行われた推進会議でネオニコチノイド系の薬剤に代わる薬剤について産地側から提案をさせていただきました。協議した結果、使用薬剤の変更が決定しました。生活クラブの要望に応える事が出来るのは、登録して組合員がお米を食べてくれるからです。食べる量がほぼ決定する事により、計画的に栽培を行い、各実験事業を行う事が出来るからなのです。無農（100%有機）薬実験や３成分実験（３成分の除草剤１回使用）は目標地点として存在しているだけではありません。病害虫の発生源となる可能性や収穫量の大幅な減少等、リスクを負いながら栽培実験としても行われております。これらの実験米も理解して食べる事を約束してくれる組合員がいるからこそ出来るのです。この信頼関係を築きあげてきた諸先輩方に感謝感謝です。

再募集です

部会実験事業名について

遊佐町で行われている、無農薬実験等から農薬に変わる新しい技術の確立や方向性を模索する事、減農薬・減化学肥料、又収量の安定化を追求し、継続のできる環境保全・循環型農業を行う事が目的であり、遊佐町での実験プロジェクトは無農薬実験だけでは無く様々な取り組みが行われている事を知ってほしいのです。実験は、朱鷺放鳥プロジェクト・無農薬栽培実験　・菜種実験・無農薬栽培実験・3 成分米実験・有機肥料開発・循環型農業・農業用水を利用した水力発電等です。昨年度の応募数が数少ない状況で選考するまでに至りませんでした。今回の募集と昨年の応募を合わせて再度選考させて頂きます。二年にわたると言う事で豪華賞品を準備しております。

部会の宛名は長いので、⇨の住所を切り貼りしてご使用ください。お待ちしております。

締め切りは、H24年2月末日です！

生産者500人メッセージ

良食味へのチャレンジャー

漆曽根班
土門仁 44歳

私は約２０年前に同地区の人に誘われて、お米を栽培するようになりました。当時ササニシキを栽培した時に、堆肥を入れ過ぎて稲を倒伏させたのは今では良い思い出です。今は遊ＹＯＵ米とパプリカの生産をしています。　日頃は少しでも美味しいお米を育てたいという思いで、食味の良いお米を育てる努力をしています。今後も共同開発米部会の仲間と共に、農業技術や栽培体系の模索をし、みなさんに「美味しい」と言ってもらえるお米を作り続けます。

感想・ご意見お待ちしています

〒999-8301　山形県飽海郡遊佐町遊佐広表6-1
遊佐町共同開発米部会事務局（JA庄内みどり遊佐営農課内）
Tel.0234-72-3234　E-mail.yuyou@ja.midorinet.or.jp
URL.http://www.midorinet.or.jp/yuyou/